

第3章

健幸（けんこう）長寿のまち



● 現状と課題（配慮すべき社会情勢）

本市の人口推計では、2025年には生産年齢人口が減少し老年人口が大幅に増加するなど、超高齢社会[※]の到来により社会情勢の更なる変化が予測されます。急激な高齢者の増加は医療・介護をはじめ市民生活にも様々な影響を及ぼします。

そこで、市民が健康でいきいきと暮らすことができるよう、医療・介護を含めた体制をつくるとともに、健康づくり・体力づくりをはじめとした「健康寿命[※]」を延ばす取り組みを地域と連携して進める必要があります。

● 施策の方向性

健幸長寿のまちの実現に向けて、市民一人ひとりが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、生涯を通じた健康づくりとともに疾病の早期発見・重症化予防を推進し、医療・介護の連携を含めた地域医療の充実を進めます。

また、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、身体（からだ）を動かしたくなるような環境づくりにより、市民の健康・体力づくりに取り組みます。

施策体系

第3章

健幸(けんこう)長寿のまち

第1節 健康づくり

第2節 早期発見・疾病予防

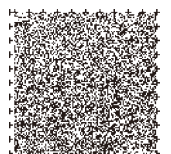
第3節 地域医療

第4節 医療保険・医療情報

第5節 スポーツ推進

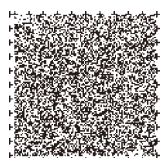
※超高齢社会…総人口に対する65歳以上の人の割合（高齢化率）が21%を超えた状態の社会のこと。

※健康寿命…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。埼玉県では、65歳に達した人が「要介護2以上」になるまでの期間を健康寿命として算出している。



分野別の主な計画

計画名	計画期間	計画概要
所沢市保健医療計画 ～スマート“健幸”ライフ所沢～ (保健医療課)	平成28(2016)年度～ 令和元(2019)年度の4年	「心身ともに健康と感じ、必要な時に必要な医療を受けられるまち」を実現し、「健幸(けんこう)長寿のまち」をめざすために、保健・医療に関する取り組みを整理し、今後めざしていくべき方向性を明らかにした計画です。
所沢市 新型インフルエンザ等対策行 動計画 (保健医療課)	平成26(2014)年度～	新型インフルエンザ等の感染拡大を抑制し、市民の生命及び健康を保護するとともに、市民生活及び市民経済に及ぼす影響を最小となるようにするための計画です。
所沢市国民健康保険保健事業 実施計画(データヘルス計画) (国民健康保険課)	平成30(2018)年度～ 令和5(2023)年度の6年	特定健康診査の結果やレセプト等のデータを活用し、PDCAサイクルの考えに基づき効果的かつ効率的な保健事業を行うため、被保険者をリスク別に分けて、網羅的かつ効果的に保健事業への取り組みを行うための計画です。
『生きる』を支える所沢市行動 計画 ～気づき・寄り添い・支え合 う所沢をめざして～ (健康管理課)	令和元(2019)年度～ 令和7(2025)年度の7年	自殺によって尊い命が失われることがないように、市民一人ひとりがかけがえのない命の大切さを考え、誰も自殺に追い込まれることのない地域社会を実現するための計画です。
第三次所沢市 市民医療センター 改革プラン (市民医療センター)	平成29(2017)年度～ 令和2(2020)年度の4年	「新公立病院改革ガイドライン」及び「埼玉県地域医療構想」を踏まえ、経営の改善と公立病院として地域の中で必要とされる役割を安定的・継続的に果たしていくための計画です。
第2次所沢市 スポーツ推進計画 (スポーツ振興課)	令和元(2019)年度～ 令和5(2023)年度の5年	日常生活の中で様々な形でスポーツに親しむことで、体を動かす楽しさを感じるとともに、いつまでも心身ともに健康で心豊かに暮らせる「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも身体(からだ)を動かしたくなるまち」をめざすための取り組みを定めた計画です。



※特定健康診査…平成20年度から医療保険者に義務付けられた40歳以上74歳以下の被保険者・被扶養者に対して行う生活習慣病に着目した健康診査。
※レセプト…医療機関が行った保険診療を保険者に請求する明細書で診療報酬明細書とも呼ばれる。

1 健康づくり



現状・これまでの主な取り組み

- 健康寿命延伸に向けた取り組みとして、「トコロん健幸マイレージ事業[※]」や各種健康づくり事業を実施しています。
- 妊娠期からの相談支援の充実を図るため、子育て世代包括支援センター「かるかも」を開設しています。
- 子育て世帯の孤立を防ぐため、関係団体等と連携し地域の子育て支援に取り組んでいます。
- 食育[※]の推進をめざして、栄養教室等を実施し、食生活・食習慣の改善指導を行っています。
- 「所沢市歯科口腔保健の推進に関する条例」に基づき、歯科口腔保健の推進を図っています。

課題

- 生涯にわたる健康づくりのため、地区担当制により、地域の特性を活かした健康づくりの取り組みを進めることが必要です。
- 産前・産後ケア[※]の充実とともに、さらに母子保健事業の充実を図り、関係機関と連携して有効な支援に結び付けていく必要があります。
- 関係機関等との連携を深め「食を通じた健康づくり」の輪を広げていくことが重要です。
- 歯と口腔の機能を健康に保つことが、心身の健康につながることの重要性を啓発していく必要があります。

評価指標

指標名	単位	現状	年度別目標					
			H29	R元	R2	R3	R4	R5
健康寿命の順位	位	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
		5 (男性)	4	3	3	2	2	1
		12 (女性)	10	8	6	4	2	1

埼玉県内の自治体における健康寿命の順位を示す指標です。

現状 平成29年度の健康寿命の順位です。

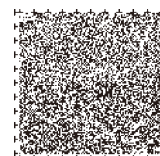
目標 令和6年度までにそれぞれ1位をめざすものです。

※トコロん健幸マイレージ事業…参加者に日常的な「歩き」を推奨することで、健康の保持・増進、疾病予防を支援し、健康寿命の延伸をめざすものである。

参加者は、個人の運動データをインターネット上で確認でき、歩数等により獲得したポイントで景品を取得できる。

※食育…食に関する様々な情報が氾濫する状況の中で、その選別と活用に関する知識や食を選択する能力を培い、一人ひとりが健康的な食生活を実践する力を育てていくもの。

※産前・産後ケア…身近に相談者がいない、家族等からの支援が十分に受けられない妊産婦を対象に、母子とその家族が、健やかな育児ができるよう相談・支援を実施する。



基本方針

[3-1-1] 主体的な健康づくりの推進

市民が心身の健康を感じ、毎日をいきいきと暮らせるよう、市民の主体的な健康づくりを支援するとともに、地域特性や地域の強みを活かした健康寿命の延伸に向けた取り組みを関係機関等と連携しながら進めます。

[3-1-2] 母子保健事業の充実

子どもの健やかな成長のために、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援と安心して子育てできる地域づくりを推進します。

また、産前・産後ケアの充実とともに、地域住民や関係機関等と連携して、更なる母子保健事業の充実をめざします。

[3-1-3] 食育の推進

市民が、生涯にわたりいきいきとした生活を送り、また、子どもたちが正しい食生活の知識を身につけ、食の大切さを認識できるように地域全体での食育の推進を図ります。

[3-1-4] 歯科口腔の健康保持・増進

ライフステージに応じた歯科口腔保健事業を展開し、それぞれの世代に必要な口腔ケアについての正しい知識を身につけられる機会を提供します。

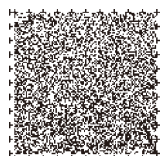


「子育て世代包括支援センターかるがも」

妊婦さんや子育て中のご家族が、妊娠・出産・子育て期を安心して過ごせるようサポートを行っていますので、お気軽にご相談ください。

妊娠届出時には保健師や助産師が面談を行い、妊娠期から出産後まで見通して生活が送れるよう、それぞれの妊婦さんに合わせた『かるがもプラン』を作成します。妊娠届出時に面談ができなかった妊婦さんへは、体調確認や母子保健・子育て支援のサービスに関する案内のための、マタニティコール（電話）を実施中です！

また、適切なサービスを利用できるよう、必要に応じて関係機関との連携を行っています。



事業目標

基本方針	3-1-1	単位	現状	年度別目標					
健幸(健康)マイレージ事業の参加者の1日平均歩数	歩	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		7,179	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	

歩くことを意識した市民の健康づくりへの取り組み状況を示す指標です。

現状 平成29年度のトコロン健幸マイレージ事業参加者の事業参加前の1日平均歩数です。

目標 毎年度8,000歩をめざすものです。

基本方針	3-1-2	単位	現状	年度別目標					
乳幼児健康診査受診率	%	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		94.3	96.5	97.0	97.5	98.0	98.5	99.0	

一連の乳幼児健康診査の受診率から切れ目のない支援について測るための指標です。

現状 平成29年度の乳幼児健康診査の受診率です。

目標 令和6年度までに99.0%をめざすものです。

基本方針	3-1-3	単位	現状	年度別目標					
食育に関する料理教室や講習会の開催回数	回	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		16	16	16	17	17	17	18	

食育推進事業の取り組み状況を示す指標です。

現状 平成29年度の食育に関する講習会等の開催回数です。

目標 令和6年度までに18回をめざすものです。

基本方針	3-1-4	単位	現状	年度別目標					
むし歯のない3歳児の割合	%	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
		87.3	87.5	87.6	87.7	87.8	87.9	88.0	

乳幼児期におけるむし歯の状況について測るための指標です。

現状 平成29年度のむし歯のない3歳児の割合です。

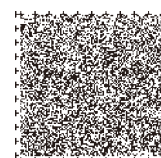
目標 令和6年度までに88.0%をめざすものです。



料理教室



乳幼児の歯科検診



2

早期発見・疾病予防



現状・これまでの主な取り組み

- 予防接種法に基づき定期予防接種を実施しています。
- 感染症の流行状況などについて、市民への情報提供を行っています。
- 生活習慣病対策のため「健診結果説明会」や「講演会」等を開催し、生活習慣の改善を促しています。
- 胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がんの検診を実施しています。
- うつ病や統合失調症等がある当事者や家族を対象に相談や講座等を行っています。
- 「思春期こころの健康相談」や「こころの体温計^{*}」による自殺防止対策を行っています。

課題

- 感染症の流行状況、予防接種についての正しい知識及び接種間隔等を、わかりやすく情報提供することが必要です。
- 疾病の早期発見・重症化予防のため、医療機関等と連携した取り組みが必要です。
- 地域住民とともに、生活習慣の改善を図る取り組みが必要です。
- がんに関する正しい知識やがん検診受診者数向上に向け、普及啓発及び情報提供が必要です。
- 精神疾患や自殺防止に関する適切な情報提供を行い、正しい知識の浸透や医療機関や関係団体等との連携強化を図ることが必要です。

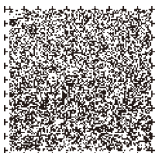
評価指標

指標名	単位	現状	年度別目標					
			R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
大腸がん検診の受診率	%	H29 7.9	8.1	8.2	8.3	8.4	8.5	8.6

大腸がん検診の受診率を測る指標です。

現状 平成29年度の大腸がん検診の受診率です。

目標 令和6年度までに8.6%をめざすものです。



※こころの体温計…携帯電話やパソコンを利用して市ホームページに掲載している「こころの体温計」の簡単な質問に答えると、水槽に泳ぐ金魚の様子が表示され、その様子でご本人や家族の心のストレス状況と落ち込み度を知ることができる。

基本方針

[3-2-1] 予防接種・感染症の情報提供

予防接種の対象者への周知・勧奨を確実にし、協力医療機関に対しても予防接種の関連情報を適切に提供することで、適正な予防接種を実施します。

感染症の流行状況や対処法など、迅速かつ正確な情報提供を行い、感染症のまん延防止を図ります。

[3-2-2] 生活習慣病予防の普及啓発

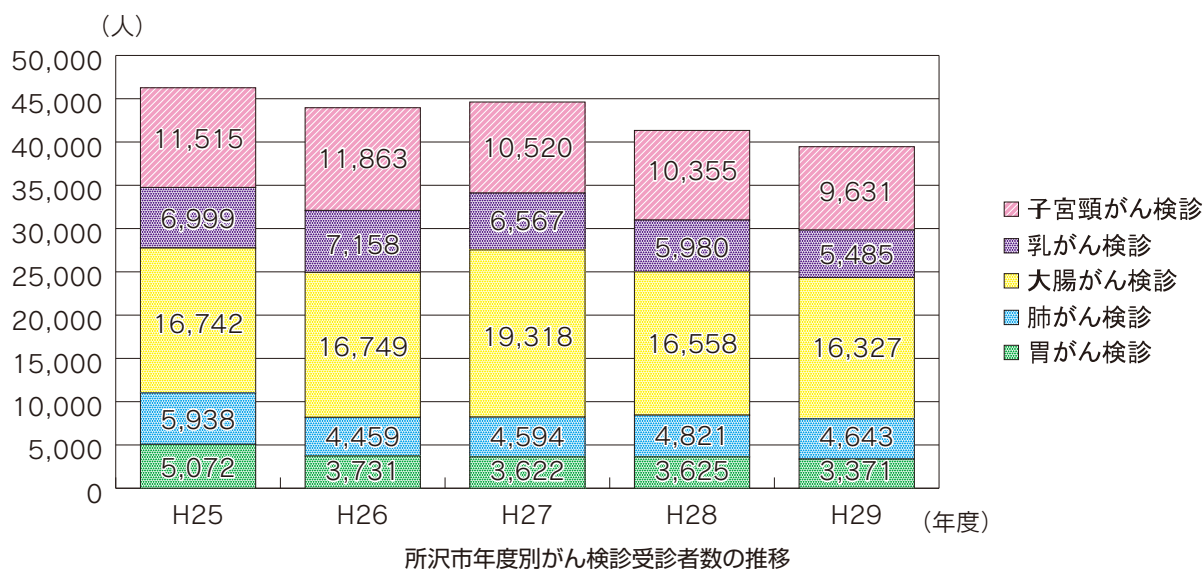
生活習慣病予防の情報提供や保健指導を行うことにより、生活習慣の改善から疾病の予防をめざします。

国保データベース(KDB)*を用いたデータ分析や地区診断を基盤に地区特性にあわせた生活習慣病予防の取り組みを推進します。

[3-2-3] がん検診の普及啓発

がん検診を実施するとともに、がんに関する正しい知識の普及啓発や情報提供を行うことにより、受診を促し、がんによる死亡を減少させることをめざします。

今後の国の指針や、死亡原因の動向を鑑みながら、検診事業内容の検討を進めます。



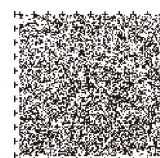
[3-2-4] 精神疾患対策と自殺防止対策

精神疾患に関する正しい知識を啓発し、当事者や家族が健やかに暮らせる地域をめざします。

心の問題を抱える市民に対し相談・訪問や状況に応じて医療機関への受診勧奨等の支援を行います。

自殺防止施策の推進を図ります。

*国保データベース(KDB) …各都道府県の国民健康保険団体連合会が所有している健診・保健指導、医療、介護の各種データを活用して、統計情報や個人の健康に関するデータが作成されるシステム。



事業目標

基本方針	3-2-1	単位	現状	年度別目標					
二種混合予防接種*の接種率	%		H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
			77	79	80	81	82	83	84

二種混合予防接種の接種率を示す指標です。

現状 平成29年度の二種混合予防接種の接種率です。

目標 令和6年度までに84%をめざすものです。

基本方針	3-2-2	単位	現状	年度別目標					
予約制健康相談（健康・栄養・歯科・リハビリ）の相談者数	人		H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
			174	180	185	190	195	200	200

自らの健診結果の理解や健康増進・生活習慣改善に関する相談者数を示す指標です。

現状 平成29年度の予約制健康相談の相談者数です。

目標 令和6年度までに200人をめざすものです。

基本方針	3-2-3	単位	現状	年度別目標					
がん検診の受診者数	人		H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
			40,170	42,000	43,000	44,000	45,000	46,000	47,000

がん（胃・肺・大腸・乳・子宮頸・前立腺）検診の受診者数を示す指標です。

現状 平成29年度のがん検診の延受診者数です。

目標 令和6年度までに47,000人をめざすものです。

基本方針	3-2-4	単位	現状	年度別目標					
こころの健康講座等の参加者数	人		H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
			3,246	3,275	3,300	3,325	3,350	3,375	3,400

精神障害及び精神障害者に対する市民の理解と知識の高まりを示す指標です。

現状 平成29年度のこころの健康講座等の参加者数です。

目標 令和6年度までに3,400人をめざすものです。

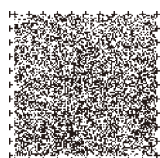
基本方針	3-2-4	単位	現状	年度別目標					
思春期こころの健康相談の相談者数	人		H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
			28	29	30	30	31	31	32

思春期こころの健康相談の相談者数を示す指標です。

現状 平成29年度の思春期こころの健康相談の相談者数です。

目標 令和6年度までに32人をめざすものです。

*二種混合予防接種…ジフテリアと破傷風の混合ワクチンを接種する予防接種。



3

地域医療



現状・これまでの主な取り組み

- 所沢地区内の医療機関の協力のもと、二次救急医療[※]の安定的な提供体制の維持に努めています。
- 医療福祉連携推進委員会[※]の活動を通して、多職種間の情報共有に努めています。
- 所沢市歯科診療所あおぞら[※]における障害児者歯科診療では、木曜日に加えて日曜日も診療できるように改善を図りました。
- 市内医療機関等の協力を得て、市民医療センターが中心的な役割を果たし、所沢市全域で365日、すべての時間帯での小児初期救急医療[※]を提供できる体制を整備しています。
- 市民医療センターでは、地域の医療・介護・福祉との連携を深め、患者への適切な医療サービスの提供を支援しています。

課題

- 救急医療体制の維持・充実のため、引き続き各医療機関の理解と協力が必要です。
- 在宅医療の充実と推進に向け、多職種の連携と市民の理解を深めることが必要です。
- 医療従事者の人員不足が懸念されていることから、地域で働く看護師等の確保が必要です。
- 所沢市歯科診療所あおぞらと地域の歯科診療所との連携強化を図ることが必要です。
- 小児急患診療を安定的に実施していくため、小児科医師の確保に加え、市内医療機関等との更なる連携が必要です。
- 在宅療養患者の入院の受け入れ体制や診療設備の整備に加え、退院後に自宅で療養してもらうためのリハビリテーション機能の充実が必要です。

※二次救急医療…原則として救急車により直接搬送、または初期救急医療施設から転送される、手術や入院を要する重症救急患者の治療を担う医療体制のこと。
※医療福祉連携推進委員会…所沢市の在宅医療に関わる、医療・介護・福祉などの多職種連携による問題解決に向けた協議、情報共有や実践を目的とする委員会。
※所沢市歯科診療所あおぞら…所沢市の在宅要介護高齢者、障害児者及び休日緊急の歯科診療を行う市の診療所。所沢市保健センター内にある。
※小児初期救急医療…入院を必要としない小児の軽症患者に対応する救急医療をいう。



評価指標

指標名	単位	現状	年度別目標					
			R元	R2	R3	R4	R5	R6
所沢地区病院群輪番制病院*の実施	—	H29 実施						
			現状維持					

平日夜間・祝休日・年末年始における医療体制を示す指標です。

現状 平成29年度の所沢地区病院群輪番制病院の実施状況です。

目標 毎年度、現状維持をめざすものです。

基本方針

[3-3-1] 救急医療の充実

関係医療機関と連携して、平日夜間・祝休日の初期及び二次（重症救急患者）に対応する医療提供体制の維持に努めます。

電話相談や医療機関案内などの情報提供や、適正受診についての周知を行います。

[3-3-2] 地域医療の充実

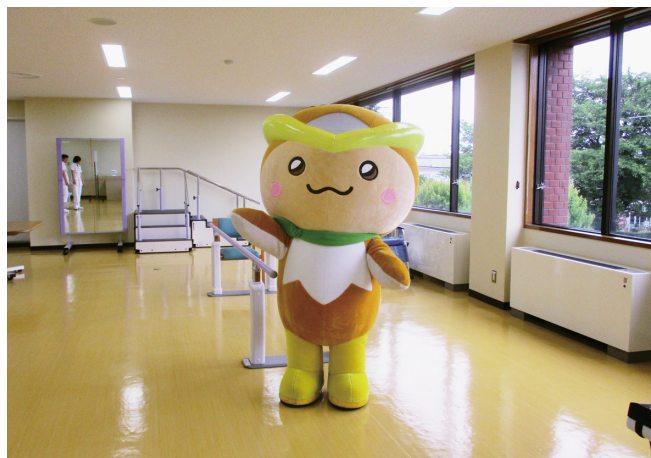
保健・医療・介護・福祉の充実や連携の強化に努めるとともに、市民向けのわかりやすい医療情報の提供に努めます。

所沢市歯科診療所あおぞらにおいて、在宅要介護高齢者及び障害児者の市民に対する歯科診療を実施し、事業の充実に努めます。

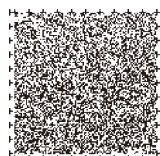
[3-3-3] 市民医療センターの運営

市内医療機関等と連携し、小児初期救急医療提供体制の維持に努めます。

地域包括ケアシステムの実現に向け、在宅復帰に向けたリハビリを行う地域包括ケア病床*を導入し、地域における公的医療機関としての役割を果たします。



機能訓練室の様子



*所沢地区病院群輪番制病院…所沢地区（所沢市、狭山市、入間市）における休日及び夜間に入院を必要とする重症救急患者の医療を確保するため、地区内の複数の病院（14病院）が交代で診療を実施する。

*地域包括ケア病床…入院治療から効率的なリハビリテーションを経て、退院（在宅復帰支援）までの医療が、一連で提供できる入院病床をいう。

事業目標

基本方針	3-3-1	単位	現状	年度別目標					
在宅当番医制の実施状況	—	—	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
			実施	現状維持					

入院を必要としない軽症の救急患者に対応する初期救急医療体制を示す指標です。

現状 平成29年度の祝休日及び年末年始の在宅当番医制の実施状況です。

目標 毎年度、現状維持をめざすものです。

基本方針	3-3-2	単位	現状	年度別目標					
所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者の診療実績	人	—	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
			821	850	850	850	850	850	850

所沢市歯科診療所あおぞらでの障害児者の歯科診療を充実させるための指標です。

現状 平成29年度の障害児者の診療の延人数です。

目標 毎年度850人以上をめざすものです。

基本方針	3-3-3	単位	現状	年度別目標					
地域包括ケア病床の利用率	%	—	—	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
			—	81	81	85	85	90	90

地域包括ケア病床の利用率を示す指標です。

現状 平成30年度から事業を開始するため、現状値は空欄です。

目標 令和6年度までに90%をめざすものです。



～埼玉県では、急な病気やけがの際に、看護師が電話で相談に応じる埼玉県救急電話相談を実施しています。～

お医者さんに行くべきか迷ったら、まず相談!!

埼玉県の

救急電話相談

#7119

24時間
相談対応
年中無休

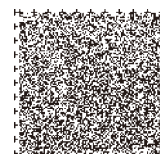
ダイヤル回線・IP電話・PHS・
都県境の地域でご利用の場合は
☎048-824-4199

小児救急電話相談 大人の救急電話相談 医療機関案内

相談のポイント **どなたが、いつから、どんな状況か、お聞きします。**

利用上のお願 救急電話相談は、電話でアドバイスを行い、相談者の判断の参考としていただくもので、医療行為ではありません。あらかじめご理解のうえ、ご利用ください。
 埼玉県 医療整備課 【協力機関】 埼玉県医師会・埼玉県看護協会・県内医療機関

彩の国
埼玉県



4

医療保険・医療情報



現状・これまでの主な取り組み

- 平成30年度から国民健康保険の財政運営を都道府県が行う、広域化が実施されています。
- 国民健康保険については、レセプト（診療報酬明細書）の点検等により、適正な医療給付の確保に努めています。
- 「所沢市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」に基づき、保健事業に取り組んでいます。
- 所沢市医師会、所沢市歯科医師会、所沢市薬剤師会等との協力・連携を図り、ジェネリック医薬品*（後発医薬品）の利用率の向上に努めています。

課題

- 医療給付等の適正化などにより、国民健康保険の安定した運営を行うことが必要です。
- 成人保健所管部署との更なる連携を図り、特定健康診査（40歳～74歳対象）の受診率を向上させ、生活習慣病の発症を予防することが重要です。
- 生活習慣病重症化予防*などの保健事業への取り組みを引き続き効果的に進めることが必要です。
- ジェネリック医薬品の利用率の向上を図ることが重要です。
- 後期高齢者医療制度*の安定的運営を図るため、収納率向上と医療費の適正化が重要です。

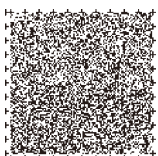
評価指標

指標名	単位	現状						
		H28	R元	R2	R3	R4	R5	R6
特定健康診査の受診率	%	39	45	50	55	58	60	60

疾病予防対策の推進に関する取り組みの成果を測る指標です。

現状 平成28年度の40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者の特定健康診査受診率です。

目標 令和6年度までに60%をめざすものです。



*ジェネリック医薬品…新薬（先発医薬品）と同じ有効成分で効能・効果の等しい医療用の医薬品のこと。先発医薬品の特許が切れた後に、他の製薬会社から製造販売されるもので、「後発医薬品」とも呼ばれる。
 ※生活習慣病重症化予防…国民健康保険の加入者を対象に、レセプトデータ等を活用して、糖尿病の重症化リスクが高い方を抽出し、医療機関未受診者や治療中断者に対する受診勧奨及び通院中の方に対する食事・運動等の保健指導を行う。
 ※後期高齢者医療制度…75歳以上の方と65歳以上で一定の障害がある方を被保険者とする、保険財政の安定化を図ることを主な目的としてつくられた独立した医療保険制度。

基本方針

[3-4-1] 保険給付の適正化

国民健康保険の安定的な運用を図るため、医療機関からの請求について、適正な医療給付等に努めます。

また、第三者行為求償[※]事務についても、これまで以上に適切に対処します。

[3-4-2] 特定健康診査等の充実

疾病を早期に発見するため、国民健康保険における特定健康診査等の受診率及び特定保健指導の実施率向上と普及啓発を行うとともに、保健事業への取り組みを効果的に進めます。

[3-4-3] 生活習慣病重症化予防の対策

国民健康保険における給付費の抑制を図るため、糖尿病性腎症[※]の重症化リスクの高い方には、保健指導を行い、重症化の予防に努めます。

[3-4-4] ジェネリック医薬品の利用促進

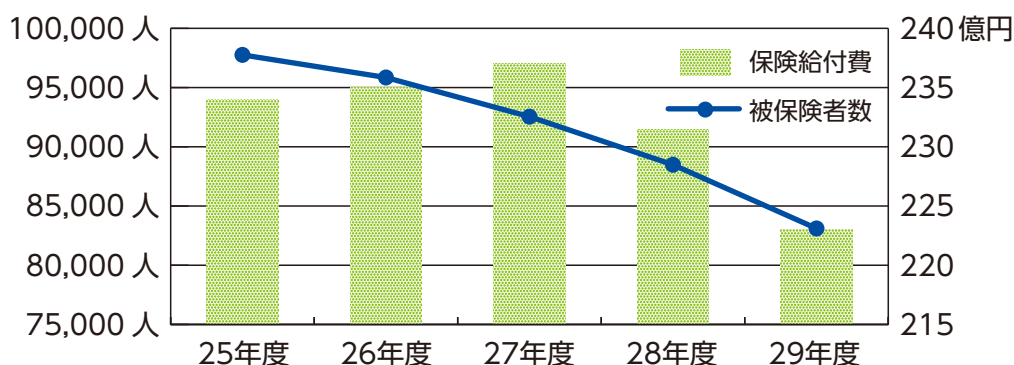
国民健康保険及び後期高齢者医療制度におけるジェネリック医薬品の利用率の向上により、医療費の適正化を図ります。

[3-4-5] 後期高齢者医療制度の充実

後期高齢者医療制度の市民への周知や啓発を進めます。

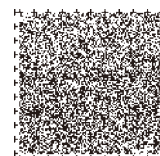
また、収納率の向上、健康診査等を通じた疾病予防の推進による医療費適正化に取り組みます。

平均被保険者数と保険給付費の推移



※第三者行為求償…他者の行為（故意過失にかかわらず）により被保険者（加入者）が所沢市国保を使用して治療を受けた分の所沢市国保から医療機関に支払った療養給付費などを、加害行為をした人（代理の法人なども含む）に請求すること。

※糖尿病性腎症…糖尿病の合併症のことで、高血糖状態が続くことによって腎臓の機能が低下する疾患。



事業目標

基本方針	3-4-1	単位	現状	年度別目標					
第三者行為求償件数	件	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
		45	現状値以上						

レセプトの内容点検等の充実・強化に伴う第三者行為求償事務の成果を測る指標です。

現状 平成29年度の第三者行為求償の件数です。

目標 毎年度、現状値以上をめざすものです。

基本方針	3-4-2	単位	現状	年度別目標					
30歳代の被保険者の健康診査受診率	%	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
		9.7	12	14	16	18	20	20	

疾病予防対策の推進に関する取り組みの成果を測る指標です。

現状 平成29年度の30歳代の国民健康保険加入者の健康診査受診率です。

目標 令和6年度までに20%をめざすものです。

基本方針	3-4-3	単位	現状	年度別目標					
人工透析*の新規移行者数	人	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
		35	現状値以下						

人工透析の新規移行者について、削減を示す指標です。

現状 平成29年度の人工透析への新規移行者数です。

目標 毎年度、現状値以下をめざすものです。

基本方針	3-4-4	単位	現状	年度別目標					
ジェネリック医薬品の数量シェア*	%	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
		71.9	78	80	80	80	80	80	

ジェネリック医薬品の利用状況を示す指標です。

現状 平成29年度のジェネリック医薬品の数量シェアです。

目標 令和6年度までに80%をめざすものです。

基本方針	3-4-5	単位	現状	年度別目標					
後期高齢者健康診査の受診者数	人	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
		13,125	14,100	14,700	15,000	15,400	16,200	16,900	

疾病予防や健康保持に関する取り組みの成果を測る指標です。

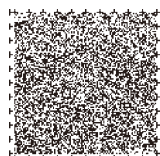
現状 平成29年度の後期高齢者医療制度*加入者の健康診査受診者数です。

目標 令和6年度までに16,900人をめざすものです。

*人工透析…機器を使って血液を濾過し、腎臓の機能を人工的に代替すること。

※数量シェア…「後発医薬品のある先発医薬品」及び「後発医薬品」を分母とした「後発医薬品」のこと。

【計算方法】後発医薬品の数量シェア＝後発医薬品の数量÷（後発医薬品のある先発医薬品の数量＋後発医薬品の数量）×100



5 スポーツ推進



現状・これまでの主な取り組み

- 地域のスポーツ団体や学校と連携し、スポーツ大会や教室等を行っています。
- 市独自の健康体操「とこしゃん体操」の周知、普及活動を実施しています。
- 体育施設の修繕や運動場の用地を取得するとともに、所沢航空記念公園内の運動場を多目的人工芝運動場として整備するため、埼玉県と協議を進めています。
- 市民体育館がゴールボールのナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定されるなど、トップレベルのスポーツに触れる機会の提供を行っています。

課題

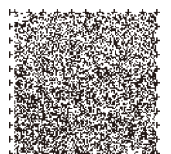
- 「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも身体(からだ)を動かしたくなるまち」をめざし、スポーツに親しめる環境づくりに取り組むことが必要です。
- ライフステージに応じたスポーツに親しむ機会の提供が必要です。
- 計画的に施設修繕を行い、安全で効率的な施設運営を図ることが必要です。
- 各種メディアを利用してスポーツ情報を発信し、スポーツを楽しむきっかけづくりが必要です。
- スポーツ指導者の育成を図ることが求められています。
- オリンピック・パラリンピックのナショナルチーム支援などを通し、スポーツに触れる機会の提供に取り組めます。



所沢シティマラソン大会



市民体育館



評価指標

指標名	単位	現状	年度別目標					
			R元	R2	R3	R4	R5	R6
スポーツを楽しんでいる市民の割合	%	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
		47.6	48.5	49.0	49.5	50.0	50.5	51.0

スポーツ振興に関する取り組みの成果を測る指標です。

現状 平成29年度の市民意識調査の設問「あなたは、日常生活の中で、何らかのスポーツ、レクリエーション活動を楽しんでいますか」に対し、「楽しんでいる」「まあまあ楽しんでいる」と答えた人の割合です。

目標 毎年度0.5ポイントの増加をめざすものです。

基本方針

[3-5-1] スポーツ活動を通じた健康・体力づくりの推進

各種スポーツ大会や教室等を充実させ、ライフステージに応じたスポーツ活動が気軽に楽しめる環境づくりに努めます。

また、「とこしゃん体操」の周知、普及活動を通して、市民の健康・体力づくりに取り組みます。

[3-5-2] 競技会場の確保や交流機会の充実

東京2020オリンピック・パラリンピックのナショナルチームの支援や全国規模のスポーツ大会等の開催支援を行います。

また、市内のプロスポーツチームとの連携事業や観戦機会の提供・拡充を通して、誰もがスポーツを楽しめる機会の提供に努めます。

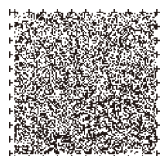
[3-5-3] スポーツ活動の支援と環境整備

スポーツ団体の支援や指導者の養成・研修とともにボランティア活動などの情報提供に努め、市民のスポーツ活動の普及啓発を図ります。

また、各体育施設の安全な利用に向けて必要な修繕を適宜行い、施設環境の充実を図ります。

[3-5-4] スポーツに触れる機会の充実

スポーツ団体が開催する大会をはじめとした、スポーツ情報の発信に努め、優秀選手及び団体への支援活動・表彰の充実を通して、市民が気軽にスポーツに触れる機会の創出・提供を図り、地域の活性化に取り組みます。



事業目標

基本方針	3-5-1	単位	現状	年度別目標				
週1回以上スポーツを実施する成人の割合	%	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		38.2	42	44	46	48	50	52

成人のスポーツ活動の状況を示す指標です。

現状 平成29年度に実施したスポーツに関するアンケート調査の設問に対し「実施している」と答えた人の割合です。

目標 毎年度2ポイントの増加をめざすものです。

基本方針	3-5-2	単位	現状	年度別目標				
ところざわほっとメールにおける「スポーツ情報」の利用登録者数	人	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		4,554	5,100	5,400	5,700	6,000	6,300	6,600

ところざわほっとメールにおける「スポーツ情報」利用登録者数により、スポーツイベントへの関心度を示す指標です。

現状 平成29年度のところざわほっとメールにおける「スポーツ情報」の利用登録者数です。

目標 毎年度300人の増加をめざすものです。

基本方針	3-5-3	単位	現状	年度別目標				
スポーツ・レクリエーション施設利用者数	人	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		858,492	859,500	860,000	860,500	861,000	861,500	862,000

屋内・屋外スポーツ施設の年間利用者数により施設の充実度を示す指標です。

現状 平成29年度の屋内・屋外スポーツ施設の年間利用者数です。

目標 毎年度500人の増加をめざすものです。

基本方針	3-5-4	単位	現状	年度別目標				
市ホームページ等のスポーツ情報発信数	回	H29	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		213	240	255	270	285	300	315

市内のスポーツイベント等の情報発信回数により、スポーツに関する情報提供の充実度を示す指標です。

現状 平成29年度の年間情報発信回数です。

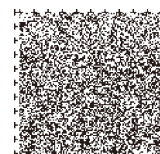
目標 毎年度15回の増加をめざすものです。



とこしゃん体操



プロスポーツとの連携





～ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点 施設とゴールボール～

平成29年4月、所沢市民体育館がゴールボール競技のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定され、日本代表強化指定選手が練習や合宿を行う施設になりました。

ゴールボールは、視覚に障害のある選手たちが行う対戦型のチームスポーツで、東京パラリンピックの正式競技です。選手は視力の程度に関係なく、アイシェード（目隠し）を装着してプレーし、ボールから鳴る鈴の音や相手選手の足音、動く際に生じる床のわずかな振動などを頼りに、攻撃と守備を交互に入れ替えて得点を競います。

パラリンピックでは、1976年のトロント大会で正式競技となり、女子チームが2004年のアテネ大会で銅メダル、2012年のロンドン大会で金メダルを獲得するなど、2020年の東京大会でもメダルが期待されています。

本市では、東京オリンピックパラリンピックに向けた取組として、平成27年度から市内の小学校や体育館でゴールボール競技の体験会を開催しており、本市ゆかりのスポーツとしてゴールボールを応援しています。

市民体育館での練習は公開していますので、ぜひ皆さんも日本を代表する選手たちの実力を肌で感じてみてください。



ゴールボール日本代表選手



小学校でのゴールボール体験会

●ゴールボールの用具



アイシェード



ボール



コートラインには、3mm以下の紐が入っていて、選手は凸凹を触ったり、踏んだりして位置や方向を把握しています。

